

## 「低炭素社会」づくりにおける「環境モデル都市」の役割について

地球温暖化問題を克服するためには、社会、経済、産業が新しいステージに移行した「低炭素社会」を目指す必要がある。

経済成長を続けつつ「低炭素社会」を創り上げていくには、様々な主体が、一層、強い意志をもって参加することが必要である。これを達成するためには、政府、自治体、産業界、学界、マスコミ、さらには国民一人ひとりが、それぞれどのような行動をとるべきかについて、取組みのイメージがわかりやすく提示され、ライフスタイル・ビジネススタイルの見直しが促されなければならない。

他方で、「低炭素社会」の姿は、それぞれの地域の規模、自然環境、社会システム、産業構造、住民のライフスタイルなどによっても異なると考えられる。

「環境モデル都市」は、こうした未来の「低炭素社会」の様々な姿の先行事例となる役割を担うものである。低炭素社会の実現に向け、高い目標を掲げて、地域の特色を活かし、多様な政策手法も用いた統合アプローチで先駆的な取組みにチャレンジする都市・地域の中から、先導的でモデル性の高い10都市・地域を「環境モデル都市」として選定する。

「環境モデル都市」の選定後、資料1-2に示すこれまでの議論を踏まえて提案内容の具体化を進め、そのフォローアップをしていくプロセスにおいて、「低炭素社会」の姿とその構築に向けた様々な主体の取組みのイメージをわかりやすく示すことが期待される。